

施工説明書

スマートモザイクシート SMTS-630/**






INAX

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
施工前に必ずお読みいただき、正しく施工してください。



安全に関するご注意

安全のため必ずお守りください

商品を安全に取付け、使用時の事故を回避するための注意事項を設定しています。
施工前によくお読みいただき、事故のないように正しく取付けてください。
(用語及び記号の説明)






	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます」
	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます」
	「注意しなさい！」 (上記の「警告」「注意」と併用して注意を促す記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください)
	「してはいけません！」(一般的な禁止記号です)
	「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です)

警告

-  電動工具や刃物を使用の際は、各工具の取扱い説明書に従い安全に作業を行ってください。
-  スマートモザイクシートの張り付けには必ず専用接着剤を使用してください。
剥がれてケガをするおそれがあります。

注意



-  スマートモザイクシートはワレモノです。モノをぶついたり、過度の衝撃を与えないでください。
破損してケガをするおそれがあります。
-  接着剤使用時は十分換気をしてください。体質によっては気分が悪くなる場合があります。
-  接着剤使用時は手袋等の保護具を着用してください。体質によってはかぶれる場合があります。
-  スマートモザイクシートの切断加工等、カッターナイフ使用時は手袋等の保護具を着用してください。
-  見切材(オプション)を切断加工後、バリ取り処理をしていない切断面には不容易に触れないでください。ケガをするおそれがあります。

※以降、スマートモザイクシートは「シート」と表記します。

施工前のご確認

適用部位と下地の確認

- ・本商品は屋内壁専用です。屋外壁、床、天井、カウンタートップ、浴室等へは使用できません。
- ・下記に従って、適用の可否判断および下地の確認を行ってください。

□にチェック(✓)してください。

■適用壁下地

ボード系	<input type="checkbox"/> せっこうボード (GB-R)	9.5mm 厚以上
	<input type="checkbox"/> 強化せっこうボード (GB-F)	9.5mm 厚以上
	<input type="checkbox"/> シージングせっこうボード (GB-S)	9.5mm 厚以上
	<input type="checkbox"/> 普通合板	9mm 厚以上、1 類、JAS 基準 F☆☆☆☆
	<input type="checkbox"/> 構造用合板	9mm 厚以上、特類・1 類、JAS 基準 F☆☆☆☆
	<input type="checkbox"/> けい酸カルシウム下地	比重 1.0、6mm 厚以上
その他	<input type="checkbox"/> コンクリート+モルタル下地	
	<input type="checkbox"/> ブロック+モルタル下地	
	<input type="checkbox"/> 押出成形セメント板 (パネル内割付け)	
	<input type="checkbox"/> ALC パネル (パネル内割付け)	

※上記以外の場合は事前に補修 (捨て張り) をしてください。

■壁下地処理

- ・留付け金具 (くぎ、ねじ) の留付け位置・間隔・留付け状態の検査をしてください。
- ・特にくぎ、またはねじ頭が下地表面より突き出ないようにしてください。
- ・下地間の段差がないようにしてください。(下地材の面精度は±1.0mm/2m 以内)
- ・表面のほこり、汚れを除去し乾燥面としてください。
- ・漆喰、塗材、吹き付けなどの壁仕上の上からは張れません。これらの仕上材と張り分ける場合は、本商品を必ず先の施工してください。

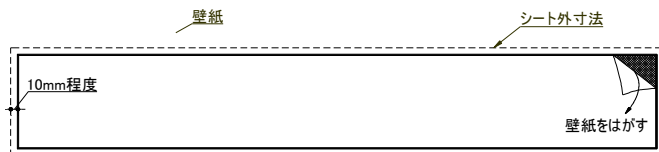
<壁紙との張り分け方法>

- ・本商品は壁下地に直接張り、壁紙とは張り分けます。
 - ・本商品を張る位置に壁紙が張られている場合は、基本的に壁紙をはがしてから施工してください。
- ただし下表で○の材質の壁紙については、はがれ防止のタッカー (別途手配) を打つことで壁紙の上から施工できます。材質が分からない場合は壁紙をはがしてください。

○	塩化ビニル系壁紙で表面加工されていないもの	壁紙をタッカー留めすれば、壁紙の上から施工できます。(施工方法は下図)
	布系壁紙	
×	紙系壁紙	壁紙と張り分けて施工します。(先に壁紙が張られている場合は、はがしてください)
	オレフィン系壁紙	
	塩化ビニル系壁紙等で表面加工されているもの 汚れ・損傷のある壁紙、その他、材質の分からない壁紙	

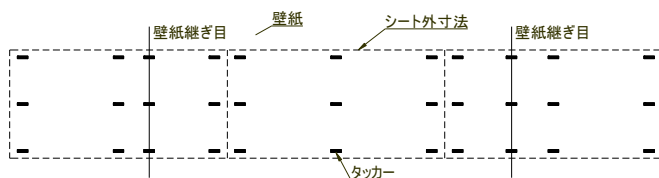
壁紙と張り分けて施工する場合

(壁紙を先に張る・既存の壁紙をはがす場合)



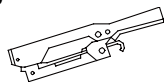
- ・既存の壁紙をはがす場合は、カッターナイフ等で切り込みを入れた後、壁紙をはがします。壁紙の裏打ち紙は可能な限りはがします。
- ・シートと壁紙の間から壁下地が見える場合がありますので、壁紙を張る場合は、**シート外寸法から 10mm 程度内側**にしてください。

壁紙の上から施工する場合

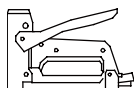


- ・タッカーは、幅 10mm 以上、打ち込み深さ 8mm 以上のステンレス製のステープルを使用し、左図を参考に (シートあたり縦、横各 3ヶ所程度) 打ち、壁紙の継ぎ目部分も必ずタッカー留めしてください。

ハンマータッカー



または
ガンタッカー



●ハンマータッカー推奨品

本体：TH-P、TH-R / (株) マックス製
ステープル (ステンレス製)：1010J-S / (株) マックス製
※ステープルは当社でも取り扱っています。

1010J-S (400) 幅 10×足長 10mm、400 本入り

●ガンタッカー推奨品

本体：TG-A (N) / (株) マックス製
ステープル (ステンレス製)：T3-13S

※ステンレス製のステープルを使用してください。

その他の注意事項

- ・周囲の壁や床、設備などを傷つけないよう保護マット等で養生してください。
- ・シートに破損（ひび割れ、欠け等）が無いか、施工前に必ずご確認ください。
- ・シートはワレモノです。落としたり壁や床等へぶつけないようご注意ください。
- ・梱包からの取り出し方法や持ち運び方法については、別紙「シートの施工時取扱いについて」をご確認ください。
- ・シートを仮置きする場合は、水がかりや汚れが付かないよう養生してください。また、平らな面に平置きしてください。不陸・段差があるところや、立て掛けて置かないでください。

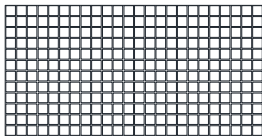
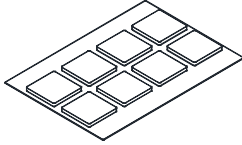
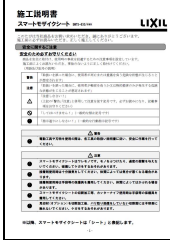



現場でご準備いただく施工工具・補助部材

- ・下記施工工具および補助部材をご準備ください。

<p>●シート張り付け用</p> <p><施工工具>○墨出し用工具（スケール、定規、墨つぼ、レーザー等） ○シート切断用工具（カッターナイフ等） ○専用接着剤塗布用工具（333ml用コーキングガン、カッターナイフ等）</p> <p><補助部材>○新聞紙、ウエス</p>
<p>●コーキング用 ※必要な場合</p> <p><施工工具>○コーキング用工具（コーキングガン、ヘラ、カッターナイフ等）</p> <p><補助部材>○マスキングテープ、新聞紙、ウエス</p>
<p>●見切材取り付け用 ※必要な場合</p> <p><施工工具>○スライドマルノコ（アルミ切断用）、金ヤスリ（細目タイプ、バリ取り用）</p> <p><補助部材>○市販補修用タッチアップ材（見切材表面塗装の補修が必要な場合）</p> <p>※推奨品：SOFT99 コーポレーション社製「チョット塗り TOUCH UP PAINT（ホワイト）」</p>

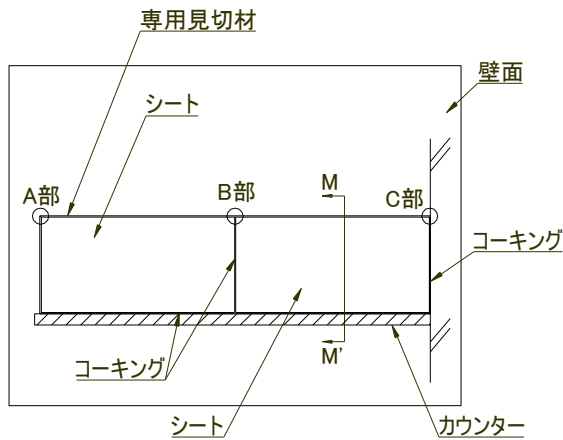
同梱部材・オプション部材

- ・下記部材が同梱またはオプション部材として別送されております。開梱時に不足がないか確認してください。

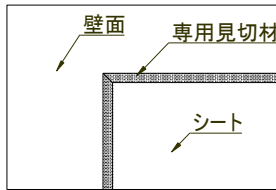
<p>●同梱部材（1枚セット1梱包の内容です。）</p>			
<p>○シート（1枚入）</p> 	<p>○仮留め用両面テープ（8片1シート入）</p> 	<p>○施工説明書（本書）</p> 	<p>○取扱説明書</p> 
<p>●別送部材（別梱包になります。）</p>			
<p>○専用接着剤（コーキング兼用）</p> 		<p>○専用見切材（長さ 1850mm）</p> 	

標準納まり例

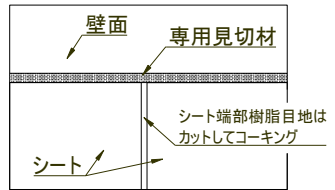
①カウンター上にシート2枚横張り



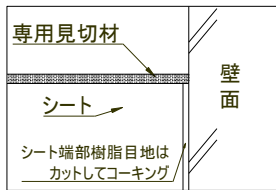
A部拡大



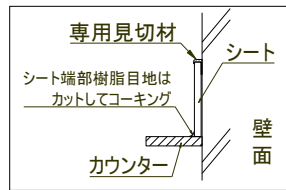
B部拡大



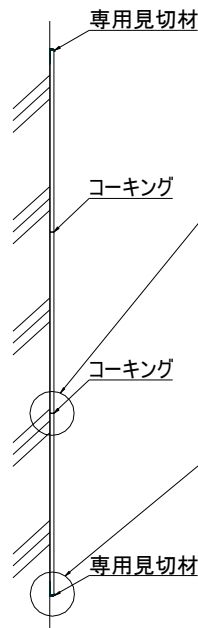
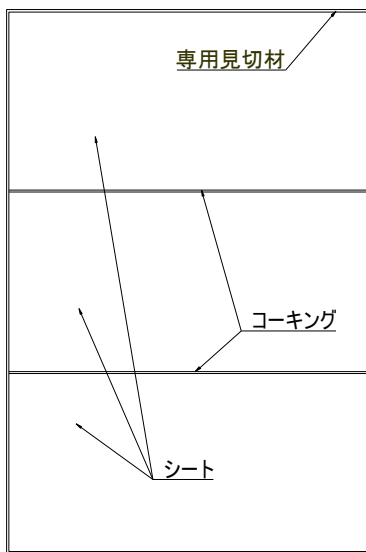
C部拡大



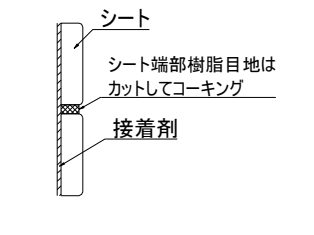
M-M' 断面



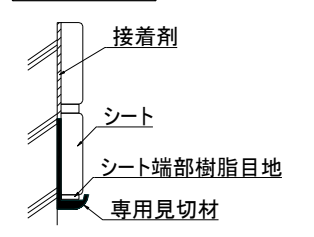
②壁面中央部にシート3枚縦張り



シート間部拡大



シート端部拡大



納まり上のポイント

- ・シート同士の間、およびシートと他部材の取り合いは、セット同送の専用接着剤（コーキング兼用）を充填してください。それ以外の商品を使用すると、シート本体の目地と色が合わなかったり、所定の性能が得られない場合があります。
- また、突付け納まりは以下の理由により避けてください。
 - ①使用中に隙間が生じる場合があります。
 - ②突付け部分に汚れが入り込むと清掃しづらくなります。

施工方法

○『リフォームで既存壁のクロスをはがして本商品を取り付ける』場合の標準施工方法を記載します。
異なる部分については各項目を参照してください。



⑦は夏季 15 分以内、冬季 30 分以内に作業を終えてください。
⑦～⑧はオプション工事です。

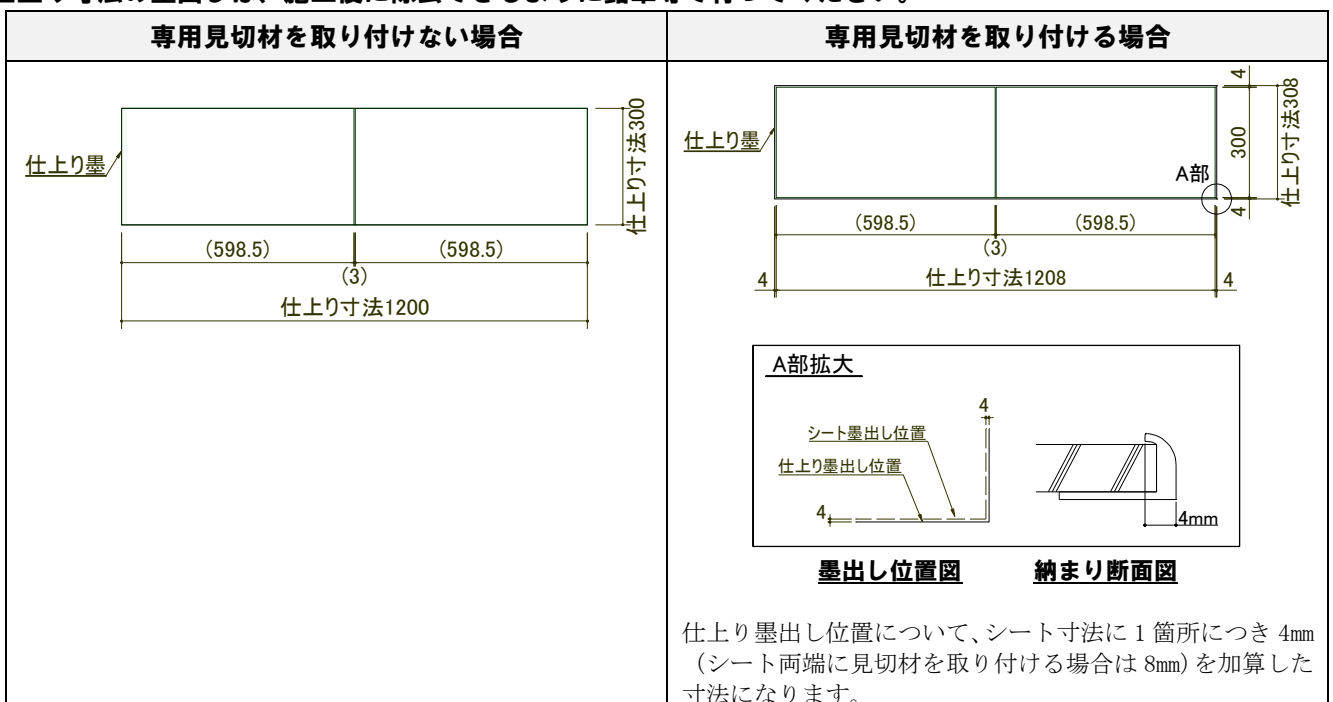
○新築の場合は、本商品または周囲壁仕上材のどちらを先行するか、現場毎に事前に確認してください。

手順1 下地の確認(クロスはがし)

- ・P.2『施工前のご確認』を確認してください。
- ・本紙表面記載の適用条件に合っているか確認してください。
- ・下地面の不陸は±1.0mm/2m 以下、段差は無いことを確認してください。

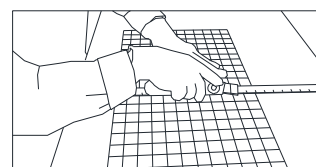
手順2 シートの位置決め

- ・シートの割付け、墨出しを行います。
- 仕上り寸法の墨出しは、施工後に除去できるように鉛筆等で行ってください。



手順3 シートの切断

- ・施工範囲に応じて、必要な大きさにシートを採寸・カットします。
- ・シートのカットは、カッターナイフ等で樹脂目地部に切り込みを入れて行います。シートの納まりパターンによってカット位置が異なるので下記を確認してください。



シート納まりパターン	カット位置	カット詳細図
シート端部を専用見切材で納める部分	目地中央付近 (シート端部に樹脂目地を残す)	
シート同士が取り合う部分 シート端部が他部材と取り合う部分 (コーキング処理を行う場合)	タイル側面付近 (極力タイルに樹脂目地が残らないようにする)	

- ・樹脂目地のカットは定規等を使用します。保護手袋などの保護具を着用し、十分注意して作業を行ってください。特にタイル側面付近をカットする際は、ゆっくり作業を行ってください。

【補足】タイルを切断加工する場合

- ・割付け上、タイル部でカットする場合は、タイル用切断刃を使用してください。
- ・作業の際は安全保護具を着用するとともに、粉塵の飛散防止に努めてください。

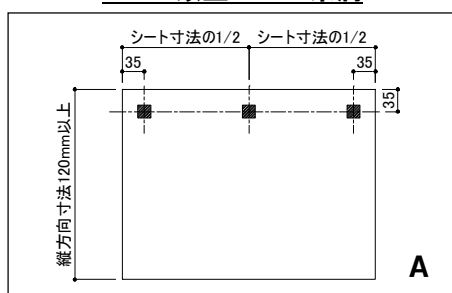
手順4 両面テープ張り

- ・両面テープはシート張り付け後のズレ防止のために使用します。そのため、カウンター上に載せて施工する (P.4 標準納まり例①) 等、シートがズレない納まりの場合は両面テープは不要です。また、シート高さが 120mm 未満の場合も不要です。
- ・必ず同梱の両面テープを使用してください。
- ・両面テープには表裏があるため、張り付け面を間違えないようにしてください。(透明フィルム側の粘着面をシート側に張り付けます。)
- ・まずシート裏面に張り付け後、シートに十分密着させ、最後に壁面張り付け側の剥離紙を剥がします。
- ・施工するシートサイズによって、両面テープ使用数量および張り付け位置が異なりますので下記を確認してください。

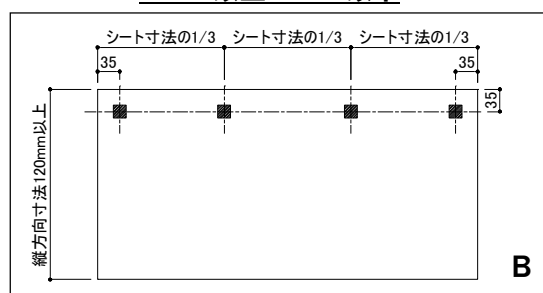
シートサイズ		両面テープ	
横方向寸法	縦方向寸法	使用数量	張り付け位置
320mm 以上 460mm 未満	120mm 以上	3 枚	A
460mm 以上 600mm 以下	120mm 以上	4 枚	B

両面テープ張り付け位置 (シートの種類によらず共通)

横方向寸法 320mm 以上 460mm 未満



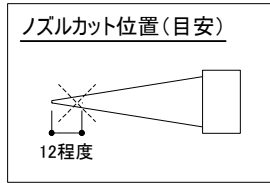
横方向寸法 460mm 以上 600mm 以下



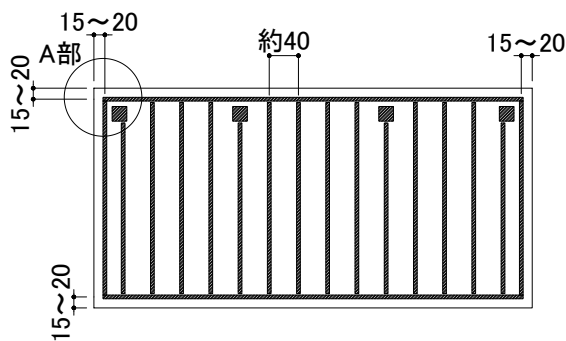
手順5 接着剤塗布

- ・シート裏面の所定位置に、接着剤をビード塗布します。
塗布位置は ①シート外周部 と ②タイル間目地部(1列とばし) を基本とします。
接着剤のビード塗布径は 6mm 程度とし、接着剤使用量はシート 1 枚あたり 0.4 本程度とします。
- ・「シート色番 MUS・KLG」は他のシートと塗布位置が異なるため注意してください。

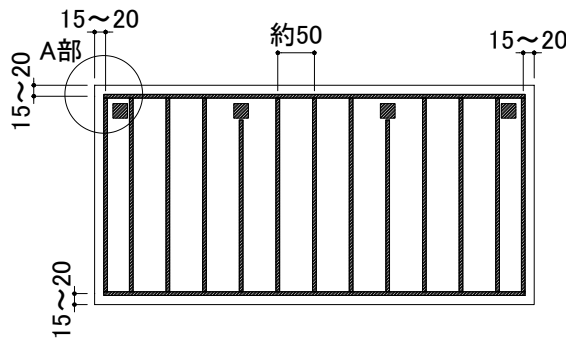
接着剤ビード塗布位置 ※右図はシートサイズ 600×300 の列



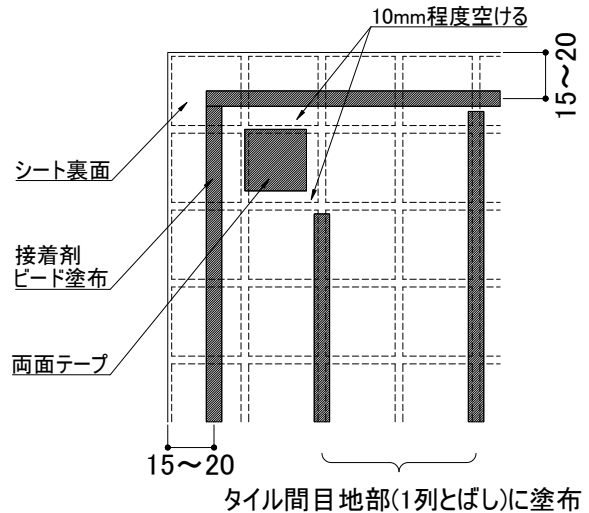
<シート色番 MUS・KLG の塗布位置>



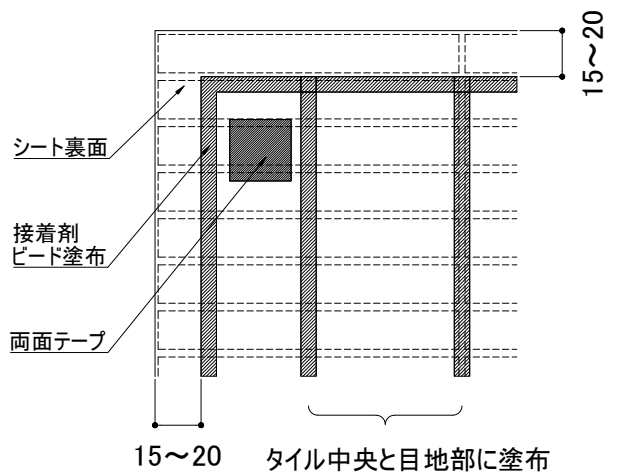
<その他のシート色番塗布位置>



A部拡大 (20mm角・25mm角タイルの場合)



A部拡大 (100mm幅ボーダータイルの場合)



- ・接着剤塗布量不足とならないように注意してください。
- ・シート外周部への接着剤塗布は、シート端部の浮き防止と、見切材の固定のために行います。
シート端部から 15~20mm の位置に塗布してください。特に塗布位置が 20mm より内側にずれると、見切材の固定ができなくなります。
- ・接着剤はシートからはみ出さないように塗布してください。
- ・両面テープには付着しないように、10mm 程度空けて塗布してください。

手順6 シート張り付け

- ・施工面の塵埃を清掃後、接着剤に触れないようにシートを持ち、シートの向きを間違えないように、墨出し位置に従って取り付け、十分圧着させます。この時、両面テープ張り付け位置付近も十分圧着させます。



- ・シート張り付け後、シート端部より接着剤がはみ出した場合は硬化前にヘラ等で除去してください。

手順7 見切材取り付け（オプション工事）

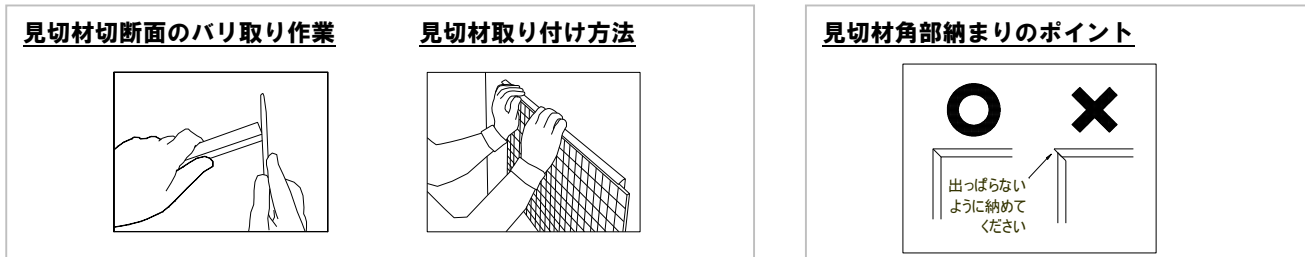
- ・シート端部が露出する（他部材と取り合わない）納まりの場合は、必要に応じて専用見切材を設置します。

<専用見切材取り付け>

- ・見切材取り付けは、シート施工後ただちに行います。
※接着剤硬化前にシート端部に差し込むため。夏季 15 分、冬季 30 分以内に作業を終えてください。
P.5『手順2 シートの位置決め』を参考に、必要な長さに切断後、シート端部に差し込みます。
- ・見切材はシート端部をのみ込む形状になっています。シート端部がのみ込まれるまで差し込んでください。

<見切材をシート端部に回して取り付ける場合>

- ・角部を 45 度留め加工にて納めます。
- ・加工はスライドマルノコ等を使用し、切断面は金ヤスリ等にて必ず面取り（バリ取り）処理を行います。切断作業は保護手袋などの保護具を着用し、十分注意して作業を行ってください。
- 加工後、切断面を仮合わせし、指で触れてバリがないことを確認してから壁面に取り付けてください。



- ・45 度留め加工部分で接合部が目立つ場合は、コーキングを充填または市販の補修用タッチアップ材で対処してください。

■推奨品：SOFT99 コーポレーション社製「チョット塗り TOUCH UP PAINT（ホワイト）」

手順8 コーキング処理（オプション工事）

- ・シート間目地部や他部材取り合い部には、シート取り付けで使用した接着剤（シリコーンシーリング）を使用してコーキング処理します。
- ・マスキング処理は確実に行ってください。特に凹凸の大きいタイルはテープ剥がれに注意してください。
- ・シート目地色にあった市販の内装用シリコーンコーキング材を使用する場合は、必ず「脱オキシム系」の商品を使用してください。※接着剤のシリコーンシーリングと成分が異なると、コーキング材の硬化具合に影響する可能性があります。
- ・施工完了後、シート表面をウエス等で清掃してください。
- ・コーキング施工後は触れないように養生してください。（目安：1 日以上）

商品・施工方法についての技術的なお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/平日 9:00~18:00

土・日・祝日 9:00~17:00

（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

TEL:0570-017-175 FAX:0570-017-178

※ナビダイヤルは、PHS,IP 電話等ではご利用になれない場合がございます。